



平成 28 年 12 月 15 日発行

生活支援ボランティア養成講座が開催されました

平成 28 年 9 月 2 日 (金) から隔週 5 回に渡って生活支援ボランティア養成講座が開催されました。当初、20 名程の参加を見越し募集させて頂いたところ、予想をはるかに上回る 59 名の方から応募がありました。

【講座内容】

第 1 回(9 月 2 日)・地域福祉について/ボランティアって何？

講師:介護老人福祉施設白寿園施設長、鴻江圭子氏

熊本県社会福祉協議会ボランティアセンター所長、桂 誠一氏

参加者:53 名

第 2 回(9 月 16 日)・認知症サポーター養成講座/傾聴・コミュニケーション

講師:白寿園居宅介護支援事業所介護支援専門員、西岡励氏

メンタルパワーパートナーコーチ、平野いずみ氏

参加者:53 名

第 3 回(9 月 30 日)・介護保険について/タブレット・パソコン講座

講師:荒尾市高齢者支援課、奥村猛氏

メディア交流館館長、原 建史氏

参加者:52 名

第 4 回(10 月 14 日)・在宅介護について/おうちの整理術

講師:白寿園ホームヘルプサービス、吉野仁美氏

日本ライフオーガナイザー協会、託摩美由紀氏

参加者:51 名

第 5 回(10 月 28 日)・在宅医療・看護について/生活支援ボランティアについて

講師:西原クリニック院長、中村光成氏

荒尾市医師会居宅介護支援事業所管理者、和田由美子氏

合志市社会福祉協議会地域福祉課、井手達也氏

参加者:55 名

開講式では、藤瀬隆司荒尾市医師会長よりご挨拶を頂き、生活支援ボランティア養成講座がスタートしました。毎回多くの受講生の方に参加して頂き、ボランティア登録にも 41 名の方の協力が得られました。お忙しい中、趣旨に賛同して頂き、ご協力頂きました受講生の方、講師の先生、関係者の皆様有難うございました。今回の講座開設で得たノウハウや反省点を生かして、2 期・3 期と開講していければと考えております。

生活支援ボランティア養成講座の様子



第 13 回 事例検討会開催 !

荒尾市在宅連携室第 13 回事例検討会

多職種で在宅生活を見守る

～多くの手・多くの視点・多くの気づき～

ふみ歯科医院院長 田中文丸

平成 28 年 10 月 5 日荒尾市在宅連携室第 13 回事例検討会が行われた。今までの事例報告会は担当職種が単独で行った内容であったが、今回は、一人の患者の事例で、入院時から退院後在宅で医療・福祉の担当者が連携して見守っている症例を、各職種目線での対応及び問題点をそれぞれの担当者が発表するという形式で行った。

まず、症例患者の入院経過・身体状況について荒尾市民病院の看護師から説明があり、在宅に帰すにあたり、問題点や不安要素の説明があった。それを踏まえて各職種別グループワークで「自分たちで何ができるか」を検討してもらった。職種別の発表は他の職種では気づかない視点があり、改めて多職種で連携を行う意義を感じるものであった。

それぞれの意見交換の後、実際に患者に関わっているケアマネージャー、訪問看護師、訪問リハビリ、薬剤師、歯科医師の立場から、具体的なアプローチ内容の説明があった。今回の事例検討会は歯科医師会仕切りという事で、歯科医師の田中みどり先生が、痰吸引回数を減らすための口腔ケアと口腔細菌検査を用いての肺炎関連細菌及び日和見細菌の減少を目的としたアプローチの結果が良い方向に向かった事が注目された。最後に在宅担当医の藤沢和久先生から本事例の在宅カンファレンスの状況報告と本日の事例検討会の総括があった。

この日は、100 人を超える多職種が参加し、今後も荒尾市では在宅連携が進んでいく事が期待できると確信した。



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお

荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)

TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605

<http://zaitaku.arao-med.or.jp>

ホームページにも載せておりますのでご覧ください

担当:青木・長岡